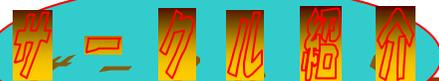


サークル四季の会

平成4年設立の水彩画サークル。現在の会員11名。昨年は設立15周年を記念して独自で作品展を開催したが、毎年まなぼつとの市民自由広場でも開催している。指導の先生は小川彰一先生。代表は小笠原立雄さん。毎週水曜日5階のアートスタジオを会場に活動しており、2週間に1作品の完成を目指して写生会を開催。室内に留まらずにバスによる年一度の写生会や、会



自でも阿寒湖畔や川湯などへ出かけ1泊2日で遠出している。



彩陶の会

平成5年4月設立。会員数21名と大所帯だ。毎週火曜日10時から12時まで陶器づくりに専念し、粘土との戦いを演じている。月平均5個平均の作品を作るそうで、入会を希望される方は一度見学しご相談くださいとのこと。若い力のある男性は大歓迎とか。作品展は、毎年2月のまなぼつと友の会の合同作品展のほか、市民陶芸展にも出品。今年は独自の作品展として、まなぼつと1階の市民展示ホールで5月23日から27日まで開催する。代表は富澤由紀子さん。見学は地下1階工芸スタジオBへ。



サークル「ふたたび」

平成元年、当時の婦人学級の修了生により設立、19年目を迎えた。毎月2回、まなぼつとを会場に例会を開催しており、今年は春探湖や武佐の森の散策なども計画されている。陶芸や手芸、料理、パークゴルフ、バス研修、映画鑑賞など活動内容が多彩。毎年、70頁を超える文集を作成し昨年度で17冊目を発行した。会員22名。月千円会費で、会則もしっかりしている。会の目的に賛同し入会を希望されるご婦人の入会は可。会長の佐藤孝子さんも楽しい方なので、興味のある方はどうぞ。



秋山ヨーガサークル

平成2年開設。会員数は昼14名、夜15名。写真のとおり、会員の皆さんは呼吸に合わせてゆっくりポーズを楽しんでいます。痛みが和らいだり、体が軽くなったり、ぐっすり睡眠できるようになったなど成果があらわれてきました。体力に自信のない方でも、代表の秋山洋子先生が親切丁寧にサポートしてくれます。木曜日、昼と夜に新しい仲間を募集中。詳しくは代表(91-6845)までお問い合わせを。



生涯学習センター(まなぼつと幣舞)

〒085-0836 釧路市幣舞町4番28号

月曜日休館

TEL 0154-41-8181 FAX 0154-41-8182

まなぼつとだより

第9号 2007年5月

第43回釧路氷まつり

ピカチューだよ!



2007.1.30

まなぼつと
みんなで氷像づくり隊

市民の皆様との出会いを楽しみに

財団法人釧路市民文化振興財団 生涯学習センター館長 五味 敏宏

この四月より、市民学園講座の仕事にたずさわることとなりました。この講座は、年代別課題・地球的課題・地元釧路の魅力再発見・託児付き講座等、まちづくりに緊密な関連をもつテーマを中心に毎年開講されています。



平成18年度は、45講座、222回実施し4,457名と多くの市民の皆様が受講されました。この講座の中の一つに、様々な体験的学習や異年齢児との交流による仲間づくりを通じ、郷土愛を培い、創造性・思いやりのある心豊かな子どもを育てることを目的とした「まなぼつと子ども体験隊」があります。農作業体験を通して収穫の喜びを味わったり、自然観察、宿泊研修、芸術鑑賞等、盛りだくさんな内容です。先日、その準備のため畑作業をする農園の状況を見に行ったり、イモ・ニンジンなどの種を買いに行ってきました。畑作業の経験の無い自分にとっては、農園の広さに驚き、作物の種類の多さ、肥料の配合などにも驚きました。経験不足の自分が、子ども達と一緒に収穫の喜びを味わう事ができるのか多少の不安はありますが、幸い経験豊富な生涯学習推進アドバイザーの先生もおり、なんとか収穫祭にはみんな笑顔でカレーライスを食べたいなあと思っています。

また、子ども達が体験した事を忘れずに、将来釧路のまちづくりに少しでも役立ててもらえれば嬉しいなあとも思います。この他にも、「まなぼつとお達者塾・いきがい新発見」「いきいき女性講座」「すこやか子育て講座」など沢山の講座があり、その中での多くの市民の皆様との出会いを楽しみにしております。

学習相談

平成18年度は37件の学習相談がありました。前年が57件でしたので年によっては減少する場合もあるようです。18年度の内容は、講座の問い合わせが最も多く、社交ダンス・ヨガ・料理・絵手紙・書道・日本画サークル・陶芸・手芸・お菓子づくりなど多岐にわたり、団体でもPTA活動での親子体験講座や町内会の行事内容相談などがありました。

その一方で、「何かをやりたいが、自分で何をしたら良いのか分からない」という60代男性の難しい事例もありました。「女房が亡くなって9ヶ月過ぎたが、一人になって休日をどのように過ごしたらよいか、土・日曜日の講座などがあれば教えてほしい」というものでした。それまで仕事一筋の人生を送ってこられた方には耐えられない孤独の時間なのでしょう。なにか、これからでも遅くないので自分自身で興味のあることを探し出す努力をされることと、市民大学やいきがい新発見の講座などを紹介しました。

釧路ふるさと講座

転入者のための釧路講座

を開催しました。

5月20日、釧路市へ転入されてきた方を対象にふるさと講座を開催しました。当日は名の新しく釧路市民となられた皆さんが参加されました。午前中のスライドによる釧路市の紹介に続いて、午後からはバスにより施設見学などを行い、午前10時から午後4時まで、どっぷりと釧路学を学んでいただきました。

バスによるコースは、まなぼつと幣舞 春採湖（下車解説） 博物館（展示解説） 久寿里橋 大規模運動公園（市民球場・市民陸上競技場・釧路根室圏総合体育館工事現場 公立大学 新釧路川 鶴見橋 日本製紙 釧路アイスアリーナ 鳥取百年館 鳥取ドーム 釧路湿原展望台 釧路湿原駐車場 史跡北斗遺跡展示館（展示解説） 釧路市動物園 山花温泉リフレ 丹頂鶴自然公園 王子製紙 国合同庁舎 こども遊学館 MOO 幣舞橋 まなぼつと幣舞着解散。駆け足の見学でした。



まなぼつと10階から



博物館マンモスホールで



鶴公園でタンチョウと対面



まなぼつとデータファイル6 まなぼつと幣舞2階紹介

2階はもっとも市民の皆さんが集まる階です。壁一面に大きな電光掲示板があり、その日の各部屋の利用状況がわかります。総合案内（インフォメーション）では、館内案内のほか申し出ていただければPC利用も可能です。隣の事務室は、サークル活動のための部屋使用の申し込みやチケット購入、くしろ市民学園友の会、市立美術館友の会など関係団体の事務手続きなど、たくさんの市民の皆さんが出入りする場です。ここでは、市立美術館と財団法人釧路市民文化振興財団、北海道共立の職員が仕事をしています。事務室の隣の奥ま



ったところに多目的ホ

ルがあります。200～300名収容の小ホールで、講演会や各種の鑑賞、発表、練習活動などいろいろな利用が可能です。ちびっこルームは、託児用として利用できます。内部には給湯室やトイレがあり、テレビやビデオデッキ、遊具などが完備されています。

大ホールの出入口が2階にあります。2階から1階にかけて観客席があり、前号でくわしく紹介したとおりです。

市民自由広場は、作品発表の場や、情報コーナー、ロビーなどゆったりした空間で構成されており、市民の皆さんが気軽に立ち寄れる場として好評です。喫茶パティオではコーヒーのほか焼きサンドセット、ピザトーストセットなどの軽食類や各種の飲み物に加えてアイスクリーム、チョコレートサンデーなど多彩なメニューが用意されています。

2階には北口と西口の出入口があり、北口ではデッキと直結し駐車場へ降りることができます。